

盛夏の候、同窓生の皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、本年も下記の通り「八戸工業大学同窓生の集う会」および各支部総会を開催いたします。多くの方々を集う会にご参加いただき、先生方や同級生・先輩後輩の方々と交流・親睦を大いに深めていただければと考えております。皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加くださるよう心よりお待ちしております。



同窓生の集う会・各支部のお知らせ



「第19回 八戸工業大学 同窓生の集う会」

日時：2019年10月5日(土) 18:00～
会場：八戸グランドホテル 八戸市番町14 TEL 0178-46-1234
会費：5,000円
平成31年3月卒業生 1,000円
申込先：dosokai@hi-tech.ac.jp
締切：2019年9月20日(金)

「秋田支部総会のご案内」
日時：2019年10月19日(土) 18:30～
会場：協働大町ビル 秋田市大町三丁目2-44 TEL 018-863-2111
会費：5,000円
※参加について前日でも申込可能ですが、お早めをお願いします。
申込先：m-kikuchi@akita-sousin.or.jp (秋田支部幹事長 菊地雅敏宛)
締切：2019年10月11日(金)

北海道支部道南部会集う会
日時：2019年9月28日(土) 18:00～
会場：海鮮立ち呑みのぶちゃん 函館市千代台町28-12 TEL 0138-31-0811
会費：5,000円
申込先：PDFファイルを印刷し、FAXにてお願いします。(北海道道南支部事務局長 山本浩道宛)
h-yamamoto@yk-teito.co.jp
締切：2019年9月20日(金)

「関東支部総会のご案内」
日時：2019年9月7日(土) 記念講演 17:00～ 集う会 17:20～
会場：アルカディア市ヶ谷 TEL 03-3261-9921 東京都千代田区九段北4-2-25
会費：6,000円(当日参加OK) 2017年3月以前に卒業された女性4,000円 (2018年度卒業生 無料 但し8/23日までの申込限定) 8/23日以降は1,000円となります。
・2017年度卒業生 3,000円
・2016年度卒業生 3,000円
申込先：t.hirasawa007@gmail.com (同窓会関東支部事務局長 平澤守宛)
締切：2019年8月23日(金)

「東北支部総会のご案内」
日時：2019年10月12日(土) 18:00～
会場：ホテルレオパレス仙台 仙台市宮城野区榴岡4-6-28
会費：6,000円
申込先：s.narasaka@eco-ls.co.jp (東北支部長 奈良坂宛)
締切：2019年10月4日(金)

北海道支部総会のご案内
日時：2019年7月27日(土) 役員会 15:00～ 総会・集う会 18:00～
会場：札幌ガーデンパレス TEL 011-261-5311
会費：6,000円
申込先：t.kida@k-plan-hok.co.jp (北海道支部事務局長 木田年彦宛)
締切：2019年7月19日(金)
※開催終了いたしました。令和2年度は7月11日予定です。

北海道支部道東部会総会
日時：2020年3月予定
詳細が決定次第同窓会HPでお知らせします

同窓会参加の皆様へ

参加の申し込みは、同窓会参加申込フォームのQRコードを読み取り、お申込み下さい。また、電子メールの場合は、参加会場、氏名、卒業学科、卒業年度、連絡先電話番号(ご存知の方は学籍番号もお願いします)を記載して同窓会本部事務局(dosokai@hi-tech.ac.jp)または、それぞれの支部申込先へお申し込みください。
※各同窓会ともに大学から多数の教職員が参加する予定です。
詳しくは同窓会HP (<https://alumni.hi-tech.ac.jp/>)にてご確認ください。
未定情報や補足情報は随時大学同窓会HPでお知らせします。



同窓会参加申込フォーム

HAMS (メールマガジン) 会員 登録のご案内

登録手順① 仮登録

普段お使いの携帯電話もしくはパソコンから、下記アドレス宛に空メールを送信します。携帯電話をご利用の場合、QRコードからのアクセスが可能です。
hams@alumni.hi-tech.ac.jp

登録手順② 本登録

空メールを送信した携帯電話もしくはパソコンに、自動で返信メールが届きます。返信メールの本文中にあるURLにアクセスすることで本登録が完了します。



平成30年度八戸工業大学同窓会事業報告及び収支決算報告

2018年4月1日～2019年3月31日

事業報告

〈本部〉

平成30年 6月23日 (土)	第1回理事会・定例代議員会
10月 6日 (土)	第18回同窓生の集う会
平成31年 2月23日 (土)	月館敏栄県文化賞受賞祝賀会
3月20日 (水)	学位記授与式
3月20日 (水)	第2回理事会

〈支部〉

平成30年 5月19日 (土)	関東支部定例幹事会
6月29日 (金)	関東支部臨時役員会
7月28日 (土)	北海道支部総会・集う会
8月25日 (土)	関東支部役員会
9月 1日 (土)	関東支部総会・集う会
18日 (火)	秋田支部役員会
22日 (土)	北海道道南部会支部総会・集う会
10月20日 (土)	秋田支部総会・集う会
27日 (土)	東北支部総会・集う会
11月10日 (土)	関東支部役員会

〈学科分会〉

平成30年4月18日 (木)	水交会賞表彰式
28日 (土)	学匠会第1回役員会
6月10日 (土)	蒼峰会役員会
6月28日 (木)	学匠会第1回幹事会
7月13日 (金)	うみねこ会役員会・幹事会・懇談会
9月 1日 (土)	学匠会第2回役員会
15日 (土)	うみねこ会役員会・幹事会・懇談会
10月 6日 (土)	水交会総会・役員会
11月10日 (土)	学匠会第3回幹事会
平成31年2月23日 (土)	学匠会第4回幹事会
3月20日 (水)	学位記授与式・手交式に派遣(蒼峰会) (水交会) (土木建築) (学匠会) (うみねこ会) (感性デザイン)



決算報告

一般会計

収入の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会費	5,180,000	5,020,000	▲160,000
会報協力費	600,000	489,510	▲110,490
広告収入	180,000	70,000	▲110,000
雑収入	4,643	10,568	5,925
前年度繰越金	9,059,247	9,059,247	0
計	15,023,890	14,649,325	▲374,565

支出の部

項目	本年度予算額	決算額	差異
会議費	200,000	104,329	95,671
旅費交通費	1,100,000	1,070,000	30,000
集う会経費	300,000	148,080	151,920
印刷費	2,900,000	2,837,324	62,676
通信費	50,000	34,393	15,607
支部関係	1,350,000	1,063,847	286,153
運営費関係	10,000	38,880	▲28,880
分会助成費関係	1,200,000	666,927	533,073
業務委託費	86,400	64,800	21,600
積立金	0	0	0
慶弔費関係	70,000	127,553	▲57,553
卒業記念品代	130,000	130,000	0
記念事業支援費	0	0	0
会則3・4条関連事業費	100,000	68,688	31,312
予備費	13,600	0	13,600
次年度活動費	7,513,890	8,294,504	▲780,614
計	15,023,890	14,649,325	374,565

次年度繰越金 8,294,504

特別会計

項目	本年度予算額	決算額	差異
当期積立金	0	0	0
前年度繰越金	20,000,000	20,000,000	0
計	20,000,000	20,000,000	0

平成30年度監査の結果、上記のとおり相違ないことを認めます。

令和元年5月14日 監事 夏堀 大司
監事 左館 直樹

平成30年度開催の集う会・支部総会



第18回八戸工業大学同窓生の集う会

同窓生の集う会 10月6日・八戸



平成30年10月6日・八戸グランドホテルにおいて、毎年恒例の「同窓生の集う会」が開催されました。同窓生と教職員122名が参加し、功労者として、秋田支部の明珍勲氏が表彰されました。また、映像研究部の特撮・八戸工大ヒーロー「HITマン」が登場しました。



東北支部総会10月27日・仙台



北海道支部総会7月28日・札幌



北海道道南部会9月22日・函館



秋田支部総会10月20日・秋田



関東支部総会9月1日・東京

令和元年度 定例代議員会 開催

八戸工業大学同窓会定例代議員会が六月二十二日(土) 十七時から八戸グランドホテルで開催されました。平成三十年度の事業報告および今年度の予算、事業計画について話し合われました。議案としては次の通りです。

議案

- ・(第一号議案) 平成三十年度事業報告
- ・決算に関する件
- ・(第二号議案) 令和元年度同窓会事業計画・予算について
- ・(第三号議案) 第十九回「八戸工業大学同窓会生の集う会」について
- ・(第四号議案) 役員(副会長、理事、監事)の選出について

その他
 ・八戸工業大学同窓会表彰について
 ・事務局規程について

令和元年度 同窓会表彰者

八戸工業大学同窓会では、同窓会活動の発展及び、同窓会活動全般にご尽力された会員について、同窓会理事会を経て毎年表彰を行っています。本年度の対象者は一名で、工学部 産業機械工学科(昭和五十四年度)を卒業した西岡邦夫氏が対象になりました。西岡氏は、二〇一二年〜二〇一八年の二期・六年間の長きに渡り、北海道支部支部長の大役を担われ活発な支部活動を牽引されその功績は大きいことから本年度の表彰対象者となりました。表彰式は、十月五日に、八戸で開催される「第十九回八戸工業大学同窓生の集う会」において行われます。

役職	氏名	卒業年度	卒業学科
会長	富士 信雄	昭和51年度	電気
副会長 (同窓教職 員の会)	淺利 能之	昭和51年度	電気
副会長	小玉 成人	平成7年度	電気
理事	小玉 吉美	昭和50年度	機械
理事	岩本 明佳	昭和57年度	電気
理事	高橋 和雄	昭和55年度	建築
理事	原田 修	昭和60年度	エネルギー
理事	大坂 崇長	平成04年度	エネルギー
理事	石橋 宣貴	平成20年度	感性デザイン
理事	高橋 貴恵	平成21年度	感性デザイン
理事	田村 友宏	平成27年度	システム情報
理事(支部)	奈良坂 進	昭和50年度	機械
理事(支部)	山下 一寛	昭和62年度	建築
理事(支部)	永井 誠	平成2年度	建築
理事(支部)	古館 仁	平成10年度	機械
理事(支部)	左館 直樹	昭和57年度	機械
監事	夏堀 大司	昭和58年度	土木



令和の時代を

気持ちを新たに

同窓会長を務めております富士信雄です。

同窓会員の皆様方は全国各地で活躍のことと拝察いたし、本会の活動に常々格段のご協力をいただき誠にありがとうございます。また、母校八戸工業大学におかれましては今年度から同窓会活動支援業務が事務規程に明記されるなど、同窓会に一層のご理解とご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、同窓会の目的である「会員相互の親睦」を図るための「同窓生の集う会」や、各支部長、分會長のご尽力のもと実施されている支部総会や分会活動等に加え、もう一つの目的にある「母校の発展に貢献」するための活動を「同窓会会則三・四条関連事業」と名付け、昨年度より開始いたしました。

「母校の発展を助けるために必要な事項」の一つとして「大学案内等学生募集パンフレットの効果的な配布」については、集う会、各支部・分会の総会などにこの送付希望を募り、入試課から郵送後、親族や職場の大学進学予定者に一言添えて手渡すことや、職場などへ配置していただくことをお願いいたしました。また、各部活動の試合会場等で掲示するための応援旗を寄贈いたしました。これらの事業は今年度も引き続き実施したいと考えております。今後は「大

八戸工業大学同窓会

会長 **富士 信雄**

学への組織的な情報提供」や「広報誌の同窓会コーナー設置」について、実施を検討したいと思っております。

さらに、今年度からは留学生募集に関して同窓会として協力できることを研究し、母校の国際化に貢献したいと考えています。これは、我が国が先進国としての役割を果たしつつ国際社会との調和ある発展を図っていくため、技能、技術又は知識の開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することは日本の課題であり、日本の大学の課題でもあると考えるからです。私が代表取締役社長を務めております桜総業株式会社でも今年度からベトナムからの技能実習生を受け入れており、国際化は加速度的に進んでおります。

結びに、同窓会会長として、副会長をはじめとする役員並びに全国の支部長、各分会長各位のご協力と会員の皆様のご支援をいただき、令和の時代を気持ちを新たに、全力を尽くしたいと思っております。今後とも同窓会活動に変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。



蒼峰会活動報告

☆昭和五十四年度卒 機械系
同期会の集う会開催報告☆

月日が経つのは早いもので、昭和五十五年三月に母校八戸工業大学を卒業した同期生の多くは、昨年還暦を迎えました。

卒業後、初の同期会を開催したのでご報告申し上げます。
日時 平成三十年十月六日（土）
会場 緑文銭（六日町）

（同窓生の集う会の後開催）
参加人数 卒業生名簿八十六名中
二十一名参加

当日の写真を以下の通り掲載しました。事後の感想として、「卒業以来三十八年、初めて参加することが出来、とても感謝しています。還暦会はとても素晴らしく、時間が一度に二十代にタイムスリップしました。」とある通り、とても三十八年ぶりという感覚ではなく、瞬時に当時の学生時代のやり取りがあらこちらで聞こえてきました。社会人として、もまれてきたことなど一切関係なく、とても不思議で幸せな時間でした。

早い時間に到着したメンバーは当時の下宿を見に行くなど、思い出の場所めぐりをしたそうです。また、同期会の翌日には、開催中の「工大祭」を訪れました。あいにくの強風のため、出店テントが中止となり学生たちの若いエネルギーを感じる場面は少なかったのですが、女子学生の多さやコスプレ

の学生など現在の大学生の様子に驚き、八戸市民病院との共同研究で完成させた世界初の移動緊急手術室「ドクターカーV3」など最新の研究にも触れることができました。

次回の開催についてアンケートしたところ、出身地が広域なので、皆さんの旅費を考え、北海道・東北北部・東北南部・関東などを順繰りにまわってはどうかとの意見もありましたが、「三年後の夏に八戸」で開催してほしいという意見が一番多かったです。また集う会の後では時間が限られるので、考えてほしいとの意見もありました。

有志一同、その辺も考慮しながら三年後（令和三年）にご案内を差し上げたいと思っています。

なお、本学同窓会では同窓会報お届けの際、転居等で住所の確認ができない皆さんのお名前をお知らせしています。ご存知の方のお名前がありましたら、ぜひ蒼峰会または有志の会事務局までお知らせいただきます様、お願いいたします。

（和田 諭）



【S54M卒業生有志の会事務局】
千葉兼喜 (小玉)
yuusinokai.chiba@gmail.com
和田 諭
daskeojisan@gmail.com



■水交会活動報告

平成三十年度水交会総会
平成三十年十月六日（土） 十六時三十分より、八戸グランドホテルにて「平成三十年度水交会総会」が開催されました。始めに、平成二十九年度収支決算報告及び事業報告がありました。続きまして、平成三十年度事業計画及び中間報告があり、審議した結果異議なく了承されました。最後に、関学科長より学科の近況報告がありました。



平成30年度水交会総会

平成三十年度「水交会賞」表彰式
平成三十一年三月二十日（水）及び四月十八日（木）に八戸工業大学にて平成三十年度「水交会賞」表彰式を行いました。水交会賞は、学業成績が特に優れている学生や課外活動において特に優秀な成績をおさめた学生を表彰するものであり、水交会在学生応援事業として平成二十八年総会にて承認された制度です。平成三十年度は四名の学生と二団体の学生たちが表彰されました。



■OB・OGだより
佐々木 英俊 さん
昭和六十三年三月 電気工学科卒（吉米地研究室）
現在：NECネットイノベーション株式会社 東京支店 支店長



昭和最後の卒業を経て平成の時代を会社生活で過ごし、既に三十一年の月日が流れました。会社はNEC宮城に入社し、NECへの出向と復帰を繰り返しながらネットワークのシステムエンジニアを続けて現在は管理職となっております。

途中で社名が変更となりましたが、ITインフラの普及の時代にインターネットと携帯電話のバックボーンを支えるネットワークの設計構築業務となります。

IT業界ではAI、RPA、クラウド、仮想化等の新しい技術が次々と出てきており、その対応が必須な状況となっております。従来のレガシーと呼ばれるNW技術から新しい領域への転換は大変ではありますが、情報のアンテナを高くして技術習得と自己研鑽が必要な時代となっています。これからの令和の時代を担う優秀な人材（プロジェクスマネジメント対応可能な要員、上流工程の設計対応が可能な要員）の育成を大学に願っています。

卒業時に吉米地先生から贈る言葉として頂いた「二所懸命」を今でも大切にしています。



山本 崇平 さん
平成二十八年三月電気電子システム学科卒（坂本研究室）
現在：東光電気工事株式会社



大学を卒業してから四年が経ち、長いようで短い学生期間だったと感じています。今思うと大学に入学してよかったと思っています。教授や同級生と将来や授業について話したこと、研究を行えたことは今でも自分の糧になっています。

今は建設現場の施工管理として、新築現場・改修現場の工事を行っています。ビル、工場、学校などの生活になくはない場所に行き、一般の人が入ることのない場所でも指示することが多く自分の間違って大変になることも少なくはないです。品質、工期、安全、環境、原価を守ることを日々考えながらもお客さんから感謝されることもしばしば、怒られることもしばしば（笑）

■同窓生としての抱負
工藤 巧 さん
平成三十一年三月 電気電子工学科卒（信山研究室）
就職先：多摩川精機株式会社



八戸工業大学での四年間で、将来何をやりたいのか決めることが出来ました。やりたいことを決めることが出来た要因は、教職員や外部の方々からの講義やサークル活動を始め、一般企業の見学・学会発表などが挙げられます。

これらは受け身の姿勢で学内にいるだけでは経験できないことであり、両親と大学から頂いた機会に感謝しています。

卒業研究では信山研究室に所属し、バイオプラステックを用いた電気絶縁材料の研究を行いました。研究が行き詰まることや実験機器の故障など多くの困難がありました。私にとって卒業研究は、明確な正解がなく「現時点での最適解」を考え続けることだと思っています。これは社会人でも共通することだと考えています。

卒業後は大学で学んだことを基に、自ら行動しどのようなことも挑戦する姿勢を大切にしたいと思っています。

【令和元年度水交会総会開催のご案内】

令和元年10月5日（土）17時より、八戸グランドホテルにて「令和元年度水交会総会」を開催します。また、総会終了後は「令和元年度水交会総会」を開催します。ご参加された「第19回八戸工業大学同窓生集う会」が実施されます。お申込方法は、水交会web siteにてご確認ください。
http://www.elec.hi-tech.ac.jp/edosos/



水交会website

■学科近況報告

本学科では学生の就職も好調に続いており、今年も東北電力や日本原燃などで新人として活躍し始めています。さて、名誉教授の増田陽一郎先生には療養中から発展するまで、御尽力頂きました。御冥福をお祈り致します。これを受け先生には正五位瑞宝中綬章に叙任されることになりました。学科では、半導体を専門とする石山武教授に就任頂きました。また、労働人口減少を憂えて来年度より三学科横断型「ロボポート工学プログラム」開設いたします。令和と元号も改まり、今後も教職共同で諸改革を進め、学科の魅力作りを努めてまいります。水交会の皆様には今後尚一層のご支援をお願い致します。

関秀廣 先生
大学院工学研究科電子電気・情報工学専攻主任
工学部電気電子工学科長

美和電気工業株式会社
CONCEPT ENGINEERING
八戸営業所
〒039-2245 青森県八戸市
北インター工業団地1丁目1-44
TEL: 0178-20-4303 FAX: 0178-20-4230

地域の発展に貢献する
東北システム株式会社
本社
〒036-8061 青森県弘前市大字神田一丁目2-14
TEL: 0172-32-5504 FAX: 0172-32-9822
八戸営業所
〒031-0071 青森県八戸市沼館一丁目15-3
TEL: 0178-43-9236 FAX: 0178-44-7629

土木建築工学科 同窓会

■新任教員紹介



土屋 拓也 講師

ていまたため、生活が大きく変わりました。現在、主に二、三年生を担任して、皆真面目でレポートなどきちんと取り組んでくれています。また一、二年生から受ける質問の内容が大きく異なり、二年生からは深い内容を質問されることも多くありました。これは、昨年度までの先生方の教育の賜物だと思っております。私自身の話として、研究の専門は一般相対性理論と数値解析という、工学部で行われる教育とは少し離れた内容ですが、数値解析においてはシミュレーションを行いますので、工学部でも活用できるかと思っております。これから主に数学教育で貢献していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



西尾 洸毅 助教

大学にて建築・都市計画に関する研究・社会活動に取り組んでまいりました。研究活動では、人口減少により衰退の進む地方都市における居住者の購買行動や住宅取得といった消費者の方策を検討してまいりました。社会活動では、地方都市

同窓生の皆様、四月から土木建築工学科に着任しました。西尾と申します。私は宮城県仙台市で生まれ、高校までの期間を仙台市で過ごし、大学からは北海道にある室蘭工業

における大学生と地域住民が連携し、地域の魅力を生かしたまちづくりの取り組みを蓄積してきました。これからは新天地での活動にはなりません。青森県も人口減少先進地を多く抱えています。これまで培ってきた経験を活かして、地域の特長を吸収しながら研究・教育・社会活動を通じて貢献していきたいと思っています。三月に博士課程を修了したばかりではあります。若さを活かして誠心誠意努めてまいりますので宜しくお願い致します。

■第十二回青森土木フォーラム

開催案内

- 今年のテーマは「産業と土木・河川と海洋の利活用(仮題)」
- と題し、弘前市を主会場に実施しますので、是非、お越しください。
- 講演会(パネルディスカッション等を含む)、日時:令和元年十一月九日(土) 十三時三十分~十六時十五分、会場:弘前大学五十周年記念会館みちのくホール
- 演題①:「岩木川の利活用と土木技術(仮)」
- 演題②:「海洋の利用と土木技術(仮)」
- ポスター展、日時:令和元年十一月九日(土) 十時三十分~十六時三十分、会場:弘前大学五十周年記念会館岩木ホール(予定)
- 移動ポスター展、日時:令和元年十一月十六日(土) 一週間程度、会場:つがる市 イオンモール柏

■「住みたい家・住みたい街」コンクール

二〇一九開催案内

- 子どもたちに自分たちの家や街について考えてもらい、地域社会の担い手として育ててもらいたいと考え、家・街・その他について子供たちが関心を高める機会としてコンクールを開催します。
- 優秀作品発表会・最優秀作品選考会・表彰式、日時:令和元年十一月九日(土) 九時三十分~十一時五十分
- 会場:八戸ポータルミュージアムはっちシアター2
- 作品展示
- 会場(1) 八戸ポータルミュージアムはっちギャラリー12、期間:十一月三日(日) 十二時~十一月九日(土) 十五時
- 会場(2) 八戸市庁本館一階市民ホール、期間:十一月十四日(木) 十一月二十七日(水)

平成30年度 受賞

- ◇福土憲一 / 2018 年度環境大臣表彰 受賞
- ◇杉田修一名誉教授 / 青森県工業技術教育振興会特別賞 受賞「コンクリートに関する一連の研究」
- ◇鈴木拓也 / 青森県工業技術教育振興会賞 受賞「県境産廃不法投棄案に係わる研究および地域貢献 活動」
- ◇月館敏栄(本学元教授) / 2018 年度青森県文化賞 受賞
- ◇竹内貴弘 / 寒地技術賞(学術部門) 受賞 北海道開発技術センター
- ◇佐々木幹夫 / 平成 30 年度青森県工業技術教育振興会特別賞 受賞「青森県の水工学事業全般についての長年にわたる社会貢献活動」
- ◇迫井裕樹 / 平成 30 年度青森県工業技術教育振興会賞 受賞「火害を受けたコンクリートの損傷評価・診断および耐久性に関する研究」
- ◇八戸工業大学教育賞 社会貢献賞 受賞 タイトル「住みたい家・住みたい街」コンクール」の継続的取り組み (滝田貢、小藤一樹、橋詰豊、金子賢治)

■事務局だより

土木建築工学科ホームページには、イベント情報、Topics、Civil and Architecture News 新聞記事で見ると土木建築工学科などが掲載されていますので、是非立ち寄って頂ければ幸いです。URLは次の通りです。http://www.ceah.hi-tech.ac.jp/

土木建築工学科同窓会へのご意見、ご要望は先までお願いします。土木建築工学科同窓会事務局 橋詰・関川 MAIL: dosokai-c@hi-tech.ac.jp

(株)アムテックス・安全自動車(株)指定サービス工場
(株)イヤサカサービス協力工場
自動車整備用機械工具及び検査機器 修理・保守
一般社団法人 日本自動車機械工具協会
車検機器点検資格・リフト点検資格認定

藤澤こうぐ店

代表 藤澤 崇司
(平成8年度エネルギー工学科卒)
〒062-0911 北海道札幌市豊平区旭町3丁目5-41
TEL/FAX011-376-1212

i-Constructionに向けた最新機器の導入
ドローン◆地上レーザースキャナー◆GNSS (GPS)

《測量・3Dレザ-計測・ICT・調査・設計・施工監理・補償》

南部シビルコンサルタント株式会社

代表取締役 戸来敏夫
〒034-0033 青森県十和田市東五番町 7-3-2
TEL 0176-22-9575 / FAX 0176-22-0733

学匠会活動報告

■新任のご挨拶



生命環境科学科
教授 星野保

大学の教壇に立つことは、私の長年の夢の一つであり（その他の夢には個人情報あるいは営業秘密を含むため、公開ははばかられる）、この四月に実現した。こう書くとはOB・OGの皆さんは、生命環境科学科に初々しい新教員がまた一人着任したと思われるかも知れない。しかし写真に間違いはなく、私は五十がらみの中年だ。東京五輪（もちろん前回）の年に東京・渋谷区で生まれた、自称根っからの生き物オタクだ。

下関を振り出しに函館・名古屋と港町で大学生活過ごし、札幌にある経産省傘下の研究所（現在の産業技術総合研究所）になんとか就職した。ここで二十余年極地から砂漠まで寒さを好む菌類（カビやきのこ）を付け回し、その観察から（経産省の研究所なので）日本の鉱工業に寄与するとうそぶき、今に至っている。研究所での経験を積むにつれ、これを次世代に伝えたいと思いが高まり、縁あって港町八戸で大学教育に携わることができた。このことは私の望外の喜びである。そしてこれから、芸風の異なる先生方に交じって、学生達の伸びしろを可能な限り広げる力になりたいと強く希望している。（ここだけは新人同様）温かい目で見守って頂きたい。また低温環境での微生物の働きやカビ・きのこ・酵母について気になることがあれば、お気軽にご連絡下さい。

ついでと言っては何ですが、この場を借りて卒業生の皆さんにお願いがあります。新たな研究テーマとして、南部玉味噌の発酵に関わる菌類を考えています。皆さんのご家庭などで伝統的な味噌玉の仕込みを行っておられるならば、是非情報をお寄せ下さい。宜しくお願致します。

■近況報告



平成九年三月卒
エネルギー科
種市 豊

早いもので大学を卒業してから二十二年が経ちました。社会に出てからだいぶ年月がたち、学生時代を思い返すと懐かしく感じます。

私は株式会社 南部クボタ（現 株式会社 みちのくクボタ）の特機営業所（空調設備部門）に入社し、空調機の販売・施工・修理・メンテナンスの業務をしております。その後、独立し現在も同じ業務に従事しております。

入社後は売上・利益の数字目標を与えられ、かなりのプレッシャーを感じながら仕事をしておりました。入社三年目に急遽、営業部に配属されました。営業職は目標に対しての営業数字の結果のみが評価の対象となり、毎日ストレスと苦痛を感じながら仕事していたように思います。仕事が嫌になる時もありましたが、相談に乗ってくれる先輩がいてすぐ助けられました。今もその先輩とはビジネスパートナーとしてお付き合いさせて頂いています。営業職に慣れて、徐々に受注が取れるようになるとお客様との会話も楽しくなり、仕事の達成感も味わえるようになりました。

在学中はエネルギー工学科に在籍しており、熱力学・流体力学・電気工学等の機械と電気の分野を幅広く学ばせて頂きました。私は主に大型の空調設備を取り扱っておりですが、熱力学・伝熱工学・電気配線の知識が無いと成立しない仕事です。学生時代は自分が勉強した知識が就職後に生きるのか？と思っていました。今は大学で工学の分野を勉強して良かったと思えます。現場でも設計時でも学んだ知識が助けてくれるケースが多々あります。空調設備に従事するには最も適した学科だったと思います。

独立して十年目を迎えました。大学で勉強して良かったと思えます。在校生の方々にはしっかりと勉強し社会に出て活躍して頂きたいと思えます。

■近況報告

平成二十五年三月
平成二十七年三月
パイオ環境工学科卒業
大学院
機械・生物化学工学専攻修了
八戸通運株式会社 海運部 海運営業所
三浦 修一

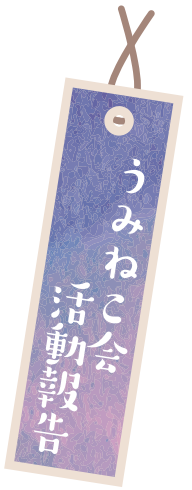
この度は会報誌に寄稿する機会をいただきありがとうございます。二〇一五年に機械・生物化学工学専攻を修了いたしました三浦です。近況報告とのことで、八工大で過ごしていた六年間を思い出しながら現状をご報告させていただきます。

生まれ育った八戸での就職を希望して就職活動を行っていた私は、地元企業の八戸通運株式会社に入社し、海運営業所に配属となりました。入社二年目で運行管理の資格を取らせてもらい、現在は県内の工業製品や水産物など、八戸港を利用した輸出に關わる運送、保管の手配や税関への輸出申告の手続きを行っております。天候による船の遅れに対応した作業の組み直しなど、予想外のトラブルに対応する場面もあります。だいたいの業務に慣れてきた三年目の秋、私が貨物の管理を閉じ込めて駆除し全国二ユースになるという大きな出来事もありました。苦労はありますが、全国有数の漁業基地・工業港である八戸港の発展に、物流を通じて貢献できることにやりがいを感じます。

また、八工大での経験が思わぬところで役立つ場面があります。税関への申告は、危険品等の不正な輸出入を防ぐため、貨物の種類を細かく分けて行う必要があるのですが、有機化合物の構造や、水産物の学名による分類など、所属していた藤田研究室で身につけた知識が実務の大きな支えとなっています。

卒業して今年で五年目となりますが、長期の休みや学園祭で八戸に戻ってきた友人や後輩と会うと、未だに在学時の思い出話で盛り上がり、学生生活でのつながりを感じます。

末筆ながら、八戸工業大学の益々のご発展と共に、諸先生方、卒業生の皆様のご活躍をご祈念申し上げます。ありがとうございました。



■学科ニュース① 平成三十一年度青森県オープンデータ活用コンテスト

平成三十一年三月にシステム情報工学科を卒業した佐藤利樹さんが、在学中に応募した平成三十一年度青森県オープンデータ活用コンテストで、「その他部門賞」を受賞しました。応募した内容は、小学校などで活用することができるドローン・プログラミングの教材のネット公開です。この教材は、二〇一八年十月二十七日（土）に開催した八戸工業大学公開講座「ジュニア・ドローン・プログラミング講座」の内容を元に作られたものです。教員やインストラクター向けの環境構築などに関する資料も用意されています。



■学科ニュース② 木村泰嗣さんが「映像表現・芸術科学フォーラム二〇一九」で受賞

平成二十九年度にシステム情報工学科を卒業した八戸工業大学 電子電気・情報工学専攻 博士前期課程一年の木村泰嗣さんが、「映像表現・芸術科学フォーラム二〇一九」において「CGIARTS人材育成パートナー企業賞」を受賞しました。この研究は、自然災害予測や被害想定シミュレーションによって得たデータをCG技術を用いてわかりやすく提示する試みについて検討を行ったものです。なお、「映像表現・芸術科学フォーラム二〇一九」は、映像情報メディア学会 映像表現&コンピュータグラフィックス研究会、画像電子学会、芸術科学会、CGIARTSの四団体の共催

で開催される研究会で、「映像表現・芸術科学フォーラム二〇一九」では二〇二〇年の発表がありました。



■学科ニュース③ 「TOHOKU MOVIE CONTEST」特別受賞

システム情報工学科の三年生四名が平成三十一年度の課題解決型の授業で制作し、東北電力主催の「TOHOKU MOVIE CONTEST」2018 GAKUSEI MOVIE CONTEST」に出品した作品「現代縄文人（代表：小比類巻 俊）」が二月九日に仙台市の「せんだいメディアテーク」において行われた公開審査・表彰式で、「特別賞」を受賞しました。東北・新潟・東京の各大学から応募された三十八作品中の上位五作品に選ばれたこととなります。作品は、大学生のもとに突然縄文人が現れ、縄文時代の遺物がたくさん残る八戸市のすばらしさに気づいていく物語となっています。



OB・OG近況報告
○滝沢健太（平成二十九年度卒業生・八戸市職員）



卒業後、八戸市役所へ就職し、観光課に配属されました。行政職で採用されたため、大学で学んだITとは違う分野の配属となりました。観光課は主に観光パンフレットの

■システム情報工学科 20周年記念講演会および第17回うみねこ会開催案内

システム情報工学科が創設され、今年で20周年を迎えます。そこで、システム情報工学科創設20周年記念行事として、下記の講演会を開催致します。講演会では、松坂知行名誉教授、苫米地宣裕名誉教授をお招きして、学科創設時の話などをご講演頂きますので是非お集まりください。

また、講演会終了後に、システム情報工学科同窓会「うみねこ会」を開催する予定です。毎年多くの教職員・卒業生が集まっています。卒業生なら誰でも参加できますので、是非御参加ください。

【システム情報工学科創設20周年記念講演会】
開催日：2019年9月21日（土）14:30～16:00
会場：八戸工業大学 メディアセンター ホール
内容：
・14:30～14:50：開会挨拶とシステム情報工学科の現状：武山泰 学科長
・14:55～15:25：講演①「システム情報工学科の創設（仮題）」：松坂知行 名誉教授
・15:30～16:00：講演②「ゲームの科学（仮題）」：苫米地宣裕 名誉教授

申し込み先：naruh@hi-tech.ac.jp（システム情報工学科 小玉成人）

【うみねこ会（懇親会）】
開催日：2019年9月21日（土）18:00～20:00
会場：グランドサンピア八戸
参加予定教職員：武山泰、小坂谷壽一、藤岡与周、小玉成人、伊藤智也、山日康之、他多数
申し込み先：katsuji@hi-tech.ac.jp（うみねこ会会長 齊藤克治）

Office Optimization
オフィス・オフィスマイゼーション/オフィスの最適化
貴社の業務の本質を捉え、
オフィスの最適なカタチを提案するのが仕事です。

株式会社 金入

〒039-1121
青森県八戸市卸センター二丁目4-12
TEL 0178-28-2871 / FAX 0178-20-2764
http://www.kaneiri.co.jp

株式会社ザックス
http://www.zax.co.jp

理化学機器、放射線関連製品、試験車、IT-フィルタ、計量証明、化学工場及び研究施設の運転・保守、等

八戸営業所 八戸市長根四丁目17-7
tel:0178-73-3620

統括本社：東通村 本社：六ヶ所村
事業所：弘前、青森、大間、八戸

感性デザイン 同窓会

創生デザイン学科オリエンテーション

創生デザイン学科では、五月九日から一泊二日、岩手県奥州市えさし蔵町モリスを中心として、一年生のオリエンテーションを開催しました。大学をバスで出発、「えさし藤原の郷」での昼食時、地元名物の卵麵を中心とした豪華七品の説明をしてくださいました。その卒業生と千葉章裕さん、嬉しいサプライズに高橋学科長や教員達と、懐かしい思い出話に花が咲きました。千葉さんは卒業して十年、職場の中堅として活躍中です。午後、えさし蔵町モリスでの「フィールドワーク」と向かいました。花巻温泉「ホテル花巻」では、本科二〇一四年卒業の桃井万葉さんらの盛大なお出迎えを受け、お世話になりました。さまざまなお出迎えにも親身に対応して下さり、卓球場の壁面アート制作についての相談もありました。桃井さんは、ホテル花巻に就職して五年目となり、現在はホテルの企画や広告物の制作に携わっています。現在、およびイ翌日は、賢治の学校（宮沢賢治童話村）、およびイハトリブ館にてフィールドワーク、南斜花壇にて記念撮影、花巻のマルカン食堂にて昼食後、全員元気に大学へと帰着しました。二日間好天に恵まれ、新入生の懇親を深めた有意義なオリエンテーションの旅に感謝すると同時に、OB・OGの活躍する姿に逢えたこと



とも大きな成果となりました。卒業生のみならず、今度は何処でお目にかかれるか、楽しみにいたしております。お元気で、ご活躍ください！

一年副担任 高屋喜久子 記

OB・OGからのコメント

桃井 万葉（二〇一四年卒、第六期生）
到着時は若いエネルギーを十分に発揮していましたが、いざ、課題をするとなると、スイッチが入ったかのように熱心に課題に取り組み姿勢を見て、こちらも忘れかけてたもの、欠けていたものを改めて学ばせてくれた、学生にとってもOBにとってもいいオリエンテーションだったと思います。

OB・OG卒業生の声

感性デザイン学部感性デザイン学科（現・創生デザイン学科）卒業生の米田と申します。
今回寄稿させていただく機会をいただいたので、自己紹介と近況報告をさせていただきます。

青森県十和田市出身で、二〇〇五年に感性デザイン学科（現・創生デザイン学科）の第一期生として入学しました。
高校当時、漠然とクリエイティブな職業に就きたいと思っていたところ、タイミング良く新しい学科が創設されたのがきっかけでこの学科を選びました。
在学中は様々な科目を学ぶ中でも、デザインに関する科目に特に興味をもち、無我夢中で課題に取り組んだのを覚えています。色彩に関する授業ではPhotoshopを使用したり、インテリアのカラーコーディネートを作ったり、デザインの授業ではオリジナルのカラーボードを作ったりと現在の仕事の根幹になることを多く学びました。

卒業後上京し、アパレル会社での勤務を経て、現在はUターンし地元十和田市にあるWEB制作会社、株式会社ビーコンズでデザイナーとして働いています。株式会社ビーコンズで弊社の紹介も簡単にさせていただきました。
株式会社ビーコンズは、「クリエイティブ」によって新しい「コト」を創造し続ける集団です。
弊社の主な業務はWEB制作で、コーポレートサイトやWEBサービス、システム開発etc.取り扱うWEBの種類は多岐にわたります。
WEBの制作会社という業種ではありませんが、WEBに限らず、地域に根づいた活動も行っており、業務の環境としてコミュニティスペースの運営やイベント企画もしています。

画もしています。
その中で私はデザインを中心とした業務を担当しています。様々なツールを駆使したり、サイトの目的や意図を考えながらデザインを構築したり、WEBページとして見られるように書きだす作業（コーディング）をしたりしています。
そして今年度、創生デザイン学科でWEBデザインに関する授業の非常勤講師として勤務させていただきましたことになりました。実務経験を活かし、社会に出て通用するような実のある授業ができればと思っています。
私が現在のデザイナーという職種についた理由は、様々なデザインに関する大学の講師の方々に高い評価をいただいた、それが単純にうれしかったことが理由の一つです。

学生にはそういったなかに自信を持てる経験を学生のうちにしていただきたいし、させてあげたいと思います。学生にとってもデザイン業やIT分野に興味を持つきっかけになれば幸いです。



第1期生 米田佳介

LIxil 住宅研究所
アイフルホーム八戸店
株式会社 第一ホーム
代表取締役 岩 淵 義 昭
八戸市新井田西 3-2-17 ☎25-8800

いつも暮らしのすぐそばに
HACHIEKI
皆様にためまぬ火を
プロパンガス・石油類の販売
はちえき
本社 八戸市御センター二丁目6-27
tel.0178-28-2111
八戸液化ガス株式会社

令和元年記念調査



「初春の令月にして、気淑く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす」
新元号「令和」

にちなみ八戸工業大学同窓生が心を寄せ合う中で希望の花を咲かせることを願い、平成30年3月卒業までの八戸工業大学同窓生18,828人の中で、「令」と「和」の文字が名前に使われているラッキーな人がどれだけいるのかを調べてみました！

【令】がつく名前

姓：なし
名(4名)：令、令奈



【和】がつく名前

姓(73名)：和田、大和田、和賀、和泉、大和、岡和田、海和、外和、三和、上和野、清和、清和田、大和山、蓑和田、名和、和泉田、和島、和嶋、和氣

名(644名)：和也、和彦、和幸、和弘、和夫、和樹、和哉、和之、和人、友和、和博、和明、和美、和徳、和行、和浩、和孝、和貴、和則、和俊、和広、和輝、和紀、智和、和正、和成、和昭、和史、和良、裕和、俊和、寿和、義和、英和、和洋、和弥、和範、和典、和仁、和志、和、博和、和裕、和磨、和征、和真、和伸、和重、和寿、和治、和憲、和義、和毅、和希、敏和、直和、広和、寛和、雅和、和隆、和雄、和矢、和男、和大、和昌、和土、和司、和康、和寛、和央、倫和、利和、洋和、豊和、芳和、美和子、忠和、知和、則和、真和、伸和、史和、弘和、貴和、壽和、和眞、和廣、和郎、和良、和利、和友、和優、和耶、和芳、和朋、和平、和文、和敏、和姫、和馬、和篤、和禎、和直、和拓、和代、和聡、和善、和泉、和宣、和仙、和生、和凶、和尋、和臣、和慎、和信、和照、和春、和充、和秀、和寿人、和実、和志昌、和子、和嗣、和克、和剛、和香子、和公、和己、和慶、和吉、和宜、和貴子、和規、和喜、和覚、和絵、和佳子、和音、和応、和位、唯和夫、弥寿和、邦和、朋和、美和、徳和、卓和、清和、晴和、政和、成和、信和、昌和、順和、宗和、浩和、光和、憲和、慶和、亨和、久和、紀和、喜和、岩和、一和

新任教員

西土石星
尾屋山野
洗拓
毅也武保

助講教教
教師授授
(土木建築工学科)
(基礎教育研究センター)
(電気電子工学科)
(生命環境工学科)

寺田大今小太三西佐若
井中内 林口浦村野生
孝睦吉伸 和雅順公
男夫栄一南久展子朗豊

技警警主書特准教教教
備備員事記任教授授授
師員員事記授授授
(システム情報工学科)
(生命環境工学科)
(基礎教育研究センター)
(生命環境工学科)

平成三十年年度 退職教職員



同窓減免制度等について

八戸工業大学では、同窓生のご子女・弟妹を対象として、入学金二十五万円を全額免除し、入学にかかる経済的負担の軽減を図っています。

また、入学時に採用する「八戸工業大学特待生制度(学業・スポーツ)」や入学後の成績等により採用する「八戸工業大学奨学生制度(同)」を実施し、保護者の皆様への経済的支援を行っています。

今年度入学試験での採用実績は、学業特待生・スポーツ特待生合わせて81名が採用され、現在、全学で特待生・奨学生159名が在籍しています。

詳細につきましては、大学ホームページや大学案内パンフレット等でご確認いただき、是非、ご利用くださいますようお願い申し上げます。

●お問い合わせ先：入試部入試課

0120-850-276 (入試課直通フリーダイヤル)

☆同窓会報への広告募集について☆

同窓会では「同窓生の集う会」開催など各種事業を行っております。年に一度発行する同窓会報もその事業の一環であり、本会の活動内容や大学の近況等を発信するメディアとして、毎年多くの同窓生にご愛読されています。

一方で会報発行に係る経費(印刷および発送費)は同窓生数の増加とともに増え続けています。

そこで、この経費の一部に皆様からの広告費収入を充当することにより、会報発行に係る経費削減を図りたいと思います。

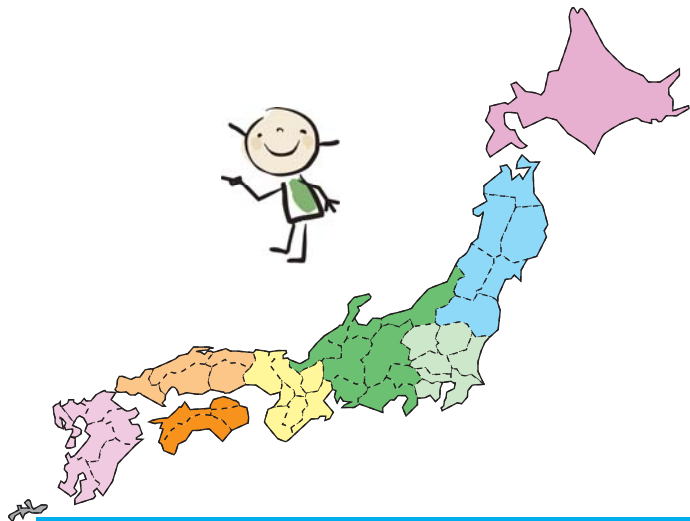
つきましては、この同窓会報を永続的に発行していくためにも、経費ご多端の折とは存じますが、同窓会報への広告掲載についてご協力いただきますようお願い申し上げます。

- ①同窓会報第26号発行付月／令和2年8月中旬
- ②発行部数／約13,600部
- ③広告規格及び金額(カラー)
 広告枠(約6cm×4cm) ¥10,000
 広告枠(規格外) 応相談
- ④申込期限／令和2年6月1日

■ 八戸工業大学 大学院工学研究科 機械・生物化学工学専攻 電子電気・情報工学専攻 社会基盤工学専攻 工学部 機械工学科 電気電子工学科 システム情報工学科 生命環境工学科 土木建築工学科 感性デザイン学部 創生デザイン学科	■ 八戸工業大学第一高等学校 普通科 特別進学コース スポーツ進学コース 総合コース 公務員コース 工業科 情報コース 電子通信コース 電気コース 機械コース 土木コース 建築コース ■ 八戸工業大学第二高等学校 普通科 カレッジコース 情報ビジネスコース 美術コース ■ 八戸工業大学第二高等学校附属中学校 ■ さくら幼稚園
---	--

広告枠No. 1 (約6cm×4cm)

件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%						
青森県	5087	38.3	北海道	1088	8.2	茨城県	487	3.7	栃木県	318	2.4	兵庫県	17	0.1	岐阜県	15	0.1
岩手県	1394	10.5	秋田県	821	6.2	山形県	460	3.5	長野県	311	2.3	山梨県	13	0.1	福井県	3	0.02
宮城県	1114	8.3	福島県	652	4.9	東京都	332	2.5	埼玉県	196	1.5	石川県	13	0.1	福岡県	3	0.02
									千葉県	189	1.4	三重県	10	0.07	長崎県	3	0.02
									群馬県	180	1.4	広島県	9	0.07	熊本県	3	0.02
									神奈川県	162	1.2	京都府	7	0.05	宮崎県	3	0.02
									静岡県	127	1.0	山口県	4	0.03	岡山県	3	0.02
									新潟県	108	0.8	滋賀県	4	0.03	愛媛県	1	0.01
									愛知県	54	0.4	奈良県	4	0.03	徳島県	1	0.01
									富山県	30	0.2	和歌山県	4	0.03	島根県	1	0.01
									大阪府	29	0.2	沖縄県	4	0.03	合計	13,264名	



協賛金芳名簿

～ご協力ありがとうございました～

塚小 熊轡 犹橋 鈴工 小沖 下向 明永 千田 鈴下 豊菊 金大 上吉 深高 今千 佐山 根木 大荒 松花 苔高 小上 安秋 金武 小梅 小長 小下 小小
 本関 谷田 館本 木藤 野田 山谷 珍田 葉端 斗田 地沢 橋田 澤澤 橋野 葉藤 ケ 村塚 木原 崎米 嶋田 崎齊 田野 田笠 原山 倉村 村玉 嶋
 敏光 謙則 隆 克 誠 一 則 敬 祐公 俊 善 建好 俊誠 秀弘 兼公 正茂 太敏 哲伸 久繁 保 康秀 重俊 光 清正 吉高
 勝男 三雄 雄勉 幸司 彦智 義均 勲久 隆悦 一昭 栄也 茂治 一寿 司壽 昭喜 信美 巳郎 哲也 直司 昌明 浩隆 伸晃 夫男 寛洋 廣春 典齋 美良

平山 紺藤 北岡 山村 阿小 鳥津 高佐 大三 田田 菅千 佐佐 柏星 三中 伊月 齋釜 石北 四平 佐井 小森 名今 菊小 小佐 岩山 中田 小畑 西鶴
 澤本 野原 城崎 本林 部松 山田 瀬々 々山 上畑 中野 葉々 々崎 野浦 野藤 館藤 谷井 向戸 野久 村向 久 池野 笠々 館下 村中 澤中 川卷
 尚正 武高 慶達 秀恭 英義 忠 泰勝 豊義 武達 隆 浩秀 久靖 浩俊 獎浩 岳公 哲直 光 春隆 雅厚 乙 哲 東達
 亨幸 道博 広彦 雄起 也嗣 隆克 充賢 良茂 浩浩 裕也 治純 昭明 典久 重雄 司美 孝寿 也貴 男之 雄信 保淑 雄紀 志文 毅治 章英 優貢 雄也

工峠 清飯 小前 藤中 附佐 北阿 秋大 高菅 田田 高平 羽土 河鵜 森杉 掛永 三河 海大 富棟 眞佐 岩池 太圓 小伊 山荒 長山 吉富 渡岩 伊青
 藤 田 野田 枝島 田藤 川部 山塚 橋沼 中中 濱澤 田畑 村飼 田野 端井 浦野 老森 岡方 井藤 田田 谷島 藤田 川瀬 田田 岡邊 野藤 木
 孝秀 洋帆 直 清角 哲吉 秀ケ 雅大 和 尚洋 一一 栄 英 千光 義城 英善 秀 直直 昭一 啓綾 晋伸 博泰 信光 清
 明一 平史 人忍 護一 栄也 博史 勝シ 之晃 彦昌 潤章 之晴 郎明 志滋 二誠 德春 信教 久成 知章 孝樹 彦夫 之郎 祐也 隆誠 文光 哉一 志昇

澤渥 奥藤 佐尾 長中 安米 高岩 安佐 田日 須鈴 神櫻 小齊 吉藤 光塚 小當 鷄信 乾鈴 佐三 小佐 小蛭 池宮 網奈 川村 山小 石藁 渡中 小井
 藤見 崎平 々身 谷村 谷村 橋下 達々 沢山 藤木 部野 松藤 田田 用田 笠銘 德太 木藤 山浦 藤林 澤田 本 良 上崎 崎林 川科 部館 手
 正智 雄健 孝な 大明 泰甚 祐剛 久伸 弘 博 栄義 正雄 勇智 政和 賀智 誠淳 芳 大大 由康 卓隆 智英 知幹 哲 英洋 久健
 幸紀 二行 入祐 博治 市介 幸悟 康誠 紀章 治郎 弘蔵 治明 行慶 宏子 子步 一 一郎 悟和 倫則 之也 俊規 樹範 郎也 雅巖 仁身 一夫 治

志川 深山 野田 助鈴 工戸 澤阿 浪那 菊今 伊山 佐松 加鈴 佐嶋 小田 小塚 高榎 菊山 安遠 水福 齊平 本関 大長 阿野 箱小 千齋 三渡 水
 賀口 持崎 田村 川木 藤嶋 部岡 須地 藤本 藤山 藤木 々脇 林口 松本 橋本 地下 藤田 間田 藤澤 田向 石川 部尻 崎野 田藤 川部 口
 和 将一 和一 友愛 祐駿 千紘 雄太 栄一 直大 良陳 希方 和浩 匡 徹智 浩 靖克 慶友 栄尚 聖祐 清 智克 孝
 晶實 昭傑 志磨 弘康 輔平 人秋 豊稜 介郎 治輝 和 民樹 榎光 康望 士範 史功 将圭 也紀 之輝 洋治 和一 治人 敢二 司彰 透勝 彰行 彦幸



同窓会事務局から

●ご家族の方へ

本誌同窓会報をご家族の方が見て同窓生本人が見ていないことがあるようです。お手数ですが、ご子女に了承いただき同封の表紙にご子女現住所等必要事項をご記入のうえ、フリーFAXにてご送付下さい。

●同窓生の皆様へ

会報が届かない、見たことがないといった同窓生がおりましたら、本部事務局まで電話またはメールで送付先（氏名、現住所、学籍番号または卒業年科）を連絡するようお願い下さい。また現住所等変更になりましたら、速やかに同窓会事務局までご連絡下さるようお願いいたします。

同窓会事務局の連絡先（各種連絡先としてご利用下さい）

本部事務局(学務部学生課)

TEL.0178-25-8027 E-mail:dosokai@hi-tech.ac.jp

機械工学科・産業機械工学科・機械情報技術学科(機械工学科事務室)

TEL.0178-25-8010 E-mail:dosokai-m@hi-tech.ac.jp

電気工学科・電気電子工学科・電子知能システム学科(電気電子工学科事務室)

TEL.0178-25-8020 E-mail:dosokai-e@hi-tech.ac.jp

土木建築工学科・土木工学科・環境建設工学科・建築工学科

(土木建築工学科同窓会事務局)
TEL.0178-25-8118 E-mail:dosokai-d@hi-tech.ac.jp

エネルギー工学科・生物環境化学工学科・バイオ環境工学科・生命環境科学科

(生命環境科学科事務室)
TEL.0178-25-8050 E-mail:dosokai-p@hi-tech.ac.jp

システム情報工学科(システム情報工学科事務室)

TEL.0178-25-8080 E-mail:dosokai-i@hi-tech.ac.jp

感性デザイン学科・創生デザイン学科(創生デザイン学科事務室)

TEL.0178-25-8070 E-mail:dosokai-k@hi-tech.ac.jp

協賛金のお願い

平成14年3月に同窓会報第1号(創刊号)を発行以来、号を重ねて今回も約13,300名の会員にお届けすることができました。会報を通して、新たな会員相互の親交が生まれたというお話を伺います時、発行の継続が同窓会本来の目的に叶っていくものと考えます。今後、会報発行を維持していくための費用として、皆様には協賛金のお願いをさせていただいております。協賛いただいた方のお名前を次号に掲載させていただきます。掲載をご希望されない方は、恐れ入りますが、本部事務局までご連絡ください。次号もまた、皆様からの様々なご意見に耳を傾け、魅力ある紙面づくりに頑張っております。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

同封物の見方

- 1 あなたの整理番号です。
- 2 現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、情報をお寄せいただくか、フリーダイヤルまたはフリーFAXまでご本人よりご連絡いただけるようお伝えください。
- 3 現在、同窓会でお預かりしているあなたの情報です。

変更のある方はいずれかをご利用下さい。

- ①フリーダイヤル
- ②フリーFAX
- ③QRコード(携帯電話)



- 4 同窓会協力金の振り込み用紙です。コンビニまたは郵便局をご利用下さい。電子マネーもご利用出来ます。

協賛金の振り込み用紙です。ご協力お願いします。

〈お問い合わせ〉

フリーダイヤル 0120-10-9899 (内線92) 平日10:00~17:00
フリーFAX 0120-10-9184 24時間受付